

12 和束町の景観調査

京都府立大学文学部地理学研究室

1. 概要

和束町で実施されている文化的景観調査事業ならびに和束町史編さん事業に関わって、和束町域の調査を実施している。令和2年度はコロナウィルスの影響で予定していた調査を実施することが不可能となったが、予定を変更して取り組むことで一定の成果を得ることができた。

実施した調査事業は次の通りである。調査は和束町地域力推進課ならびに和束町史編さん室の協力を得た。

① 和束町役場所蔵地籍図調査

2020年6月22日 予備調査（上杉）

2020年8月21日 本調査（上杉・竹内祥一郎・佐野将大・鈴木更紗）

2020年度秋～冬 小字復原（佐野将大・石橋茉莉）

② 和束町の土地利用変遷調査

2020年度秋～冬 変遷図作製（鈴木更紗・荒井元希）

③ 白栖地区の窯業（瓦産業）に関する聞き取り調査（N.Y.氏）

2021年1月15日、2月16日（上杉）

④ 白栖地区の土地利用補足調査（上杉・佐野・青柳隆慈・高橋日向・前田愛佳）

2. 成果

地籍図調査によって小字名を確認することができたため、現在の地図にプロットする作業を実施した。

土地利用変遷図の作製によって、近代以降、茶畑の面積が大幅に増加したことが可視化されることになったほか、一定の標高よりも高いエリアには茶畑があまり広まらなかったことが理解された。

白栖地区の瓦産業に関する聞き取り調査では、瓦製作に適した土が産出する場所に立地し、発達したこと、また生産の増加や展開が茶業の変遷とも呼応する側面があったことが明らかとなった。粘土を採った跡がため池となっていることも現地調査で確認することができた。（上杉和央）



写真1 2020年8月21日の調査風景